

【千葉地域】平成 29 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

設置場所	市原市	品種	夢あおば
土性	壤質土	播種日	4月21日
播種量	240g/箱	移植日	5月12日(疎植)
幼穂形成期	7月1日	出穂期	7月24日
成熟期	9月7日	収穫日	9月25日

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	85cm	穂長	21.7cm
穂数	311本/m ²	倒伏程度	0
粗玄米重	647kg/10a	標準単収値	512kg/10a

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：鶏糞
- ・施用量：500kg/10a
- ・施用時期：平成29年2月

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：7.0kg/10a ※肥料銘柄：オール14
 - ・(追肥) N量：1.4kg/10a ※肥料銘柄：オール14
- 追肥実施日：7月6日

(3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月12日

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：39株/坪
- ・植付本数(4~6本/株を推奨)：5.4本/株

4 考察等

栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、疎植においても、高い収量を得ることが出来た。コシヒカリの後に刈れ、立毛乾燥も実施でき、適正がある。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥 N 量	9 kg/10a (壤質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します